



## 第 36 回九州学生選手権競技 第 16 回九州女子学生選手権競技

競技報告 (2017/6/7)

写真と記事 : M. Kikutake

### 男女ともに東海大九州勢が優勝

男子は坂本隆一 (東海大九州 2 年)

女子は蔵座一華 (東海大九州 1 年)

第 36 回九州学生選手権・第 16 回九州女子学生選手権は 6 月 7 日、大分県日田市のローレル日田カントリークラブ (男子 6791 ㊦、女子 6244 ㊦=パー72) で行われ、男子は坂本隆一 (東海大九州 2 年) と吉田祐貴 (日本経大 2 年) の 2 人が通算 10 アンダー、134 で首位に並んだが、大会規定により最終ラウンドの成績が上回った坂本が初優勝した。

女子も蔵座一華 (ぞうざ、東海大九州 1 年) と中山結愛 (ゆい、長崎国際大 2 年) の 2 人が 3 オーバー、75 で並んだが、マッチングスコアカードでの選抜の結果、蔵座の初優勝が決まった。

前日梅雨入りしたばかりの北部九州で、日田地方も午前中を中心に激しい雨に見舞われ、午前 11 時 15 分から 35 分間、競技は中断したが、天候が回復した後は順調に消化した。(この日の日田地方の気象は雨、気温 19.2 度、北東の風 2.8 ㊦=正午現在)



### 通算 10 アンダー 134

#### 坂本は最終ラウンドで吉田祐貴 (日本経大 2 年) を上回り、逆転初優勝

36 ホールストロークプレーで行われた男子は 59 人が出場 (欠場 1 人)。第 1 ラウンド (R) は 7 バーディー、1 ボギーの 66 と好スコアをマークした吉田が坂本ら 4 人に 2 打差をつけて首位発進。雨の悪コンディションの中でも激しいバーディー合戦となり、18 人がアンダーパーをマークして後半の第 2 R に入った。

その第 2 R、吉田はボギーなしの 4 バーディー、68 で回った。しかし、今度は坂本が 7 バーディー、1 ボギーの 66 と逆襲。結局、2 人が通算 10 アンダーで並んだが、大会規定により第 2 R のスコアが上回った坂本の逆転優勝となった。2 打差、通算 8 アンダーの 3 位に、この日のベストスコア 64 をマークした酒匂雅崇 (東海大九州 4 年) が第 1 R の 19 位タイから浮上して入った。前回優勝の安部寛章 (長崎国際大 2 年) は通算 5 アンダーの 7 位タイだった。

#### 女子も接戦

#### 蔵座は 5 オーバーで並んだ中山結愛 (長崎国際大 2 年) に競り勝ち、初優勝

18 ホールストロークプレーで行われた女子は 16 人が出場。蔵座と中山はともにスタートのインは 1 オーバーで折り返した。後半のアウトもともに 1 バーディー、3 ボギーと譲らず 3 オーバーで並んだが、規定によるマッチングスコアカードで明暗が分

かれた。1打差、76の3位は山崎琉日（福岡大4年）で、さらに2打差の6オーバー、4位タイに前年優勝の岩切夏乃（九州保健福祉大2年）ら4人が並んだ。

この試合の結果、優勝した男子の坂本は第71回日本学生選手権（8月22～25日・三重県、四日市CC）、女子の蔵座は第54回日本女子学生選手権（8月23～25日・四日市CC）への出場権を得た。



## 「伸ばしあい、の中で勝てたのが大きい」

### 雨中戦を制しての初優勝に自信を深めた坂本隆一

たたきつける梅雨入り直後の雨。そんな悪コンディションの中だったが、一時中断を挟んだ試合は坂本が言うようにスコアの「伸ばしあい」となり、上位20位までが通算でアンダーパーをマークするというバーディー合戦を演じた。

第1ラウンド。66で回った吉田を筆頭に60台をマークしたのが6人。アンダーパーが計18人という混戦模様のスタートだった。やや雨が小降りになった第2ラウンドは、さらにスコアを伸ばす選手が続出。66のスコアで逆転勝ちした坂本を始め実に9人が60台でラウンドするという見ごたえのあるものになった。

そんな中、「雨は苦手ではない」という坂本は、吉田に2打差をつけられての第2Rは「自分的には出遅れた印象だった」そうだ。しかし、ここで慌てるのではなく、坂本はしっかりと足元を見つめていた。カギを握るパー5ホール。第1Rで4ホールあるうちの2つしかバーディーが取れなかったのを、第2Rは4ホールすべてでバーディー。目標としていた65には1打及ばなかったものの、結果は「この悪天候だし、スコアの伸ばしあいの中で勝てた。これは自信になるし、うれしい」と坂本だ。

10歳から始めたゴルフ。5月の九州アマチュア選手権で小学校のころから宇佐市の同じゴルフスクールで競い合ってきた葛城史馬（宇佐高一大阪学院大2年）が優勝した。自身も2014年の北九州オープンではベストアマになった実績も持っているのだが、九州アマでの友の優勝を率直に喜んだものの、8位に終わって「優勝争いに加われなかったのが悔しかった」と言う。それだけにこの日は、守りに入るのではなく攻めて勝ち取ったタイトルを喜ぶ。

日本学生選手権で目指すのはもちろん、優勝だ。高校を出ると関西、関東、東北の有名大学へ流出する九州の高校生。「九州の人が九州に残ってくれば九州（の大学）は強いと思う。僕らが頑張っ、（九州に残るとい）そのきっかけをつくりたい」。そのためにも日本選手権での活躍を期するのだ。

## 「いいリズムでやれています」

### 小さな体に意欲を溢れさせた蔵座一華

18ホールの短期決戦を制したのは身長145㍍、体重46キの小柄な女子。雨の中のゴルフは大崩れすることなく1バーディー、4ボギーの75で回り、連盟競技の初タイトルを引き寄せた。「ショットは左右にぶれていたけど、アプローチ、パターでしのいだ格好です」と振り返った蔵座だった。

小学校2年の時、父親の練習についていったのがきっかけで始めたゴルフ。高校1年で女子プロツアーを制して脚光を浴びた勝みなみ（鹿児島高出）や、九州女子選手権優勝の田中瑞希（熊本国府高出）、新垣比菜（沖縄・興南高出）や九州ジュニアを勝っている大里桃子（熊本国府高出）らと同期。彼女たちの陰に霞んでイマイチ成績はパツとしなかったが、大学に入った今年の九州女子選手権では、優勝を争った高校生の中に食い込んで5位と大健闘し、日本女子アマの出場権をつかんだ。

体が小さいことで「体力的なハンディで悩んだ時期もあった。もう少し体があったらなあ、と」。そのハンディをカバーするために頑張ったのが、ぶれない身体づくり。中学時代からの腹筋、背筋の強化。現在では大学の合同練習で「満振り50回、軽めのクラブ振り15回、左での満振り100回を3セット」をこなし、お

かげで「球筋が強くなった」という。

昨年の熊本地震では実家が経営する飲食店も被害を受け、今月末には再オープンにこぎつけたという。まだまだ大変な時期が続くのだろうが、「大学ではうまい先輩が多いから、刺激になっている。おかげで私も今は上り調子だし、いいリズムでゴルフがやれている。楽しい」と笑顔があふれる蔵座だった。